

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	English E		
英文授業科目名	English E		
開講年度	2006年度	開講年次	2年次
開講学期	3学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目 I		
開講学科・専攻	情報工学科 量子・物質工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	網代 敦		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>英文のパラグラフを精確に読み、20問程の英語による内容理解の質問に簡単な英語で答えることと、文脈を利用しながらの語彙力の増大を目的とします。</p> <p>(達成目標)</p> <p>(1)パラグラフにおけるトピックセンテンスを把握する</p> <p>(2)パラグラフとパラグラフのつながりを考えながら、正確な内容理解を目指す</p> <p>(3)語源にも触れながら語彙を増やす</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
<p>English Through Reading プリント使用</p>

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

An Observation and an Explanation (Desmond Morris)、Three Days to See (Helen Keller)、The Wisdom of Socrates、Individuals and Masses (Aldous Huxley)、How to Avoid Foolish Opinions (Bertrand Russell) などのエッセイを読みながら徹底したその内容把握を行います。英文はパラグラフの構成がしっかりしています。主題を与えるトピックセンテンスを捉えながら、各エッセイの構成を理解することにします。またいろいろな角度からの語彙問題を解くことによって、語彙を増やすきっかけを作りたいと思います。本文に出てくる主要単語は、英文で説明されています。自分の辞書で再確認して、どういう例文で使われるかを把握してください。また、書き換えを中心とした文法問題も行います。最終の授業時間に試験を行います。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：試験 70%

授業における理解度・積極性・出席 30%

評価基準：最低達成基準は以下の項目です

- (1)パラグラフ構成の特徴を把握しながら、内容が理解できること
- (2)英文で与えられた内容の語や表現を、文脈上から選択できること
- (3)最低三分の二以上の出席をしていること

【オフィスアワー：授業相談】

火曜日、12時10分以降。(講師控え室)ただし事前にアポイントメントを取ってください。

【学生へのメッセージ】

辞書を丁寧に引くこと。

【その他】